

ほんご通信

第35号 (07年11月)

発行:本郷たかし後援会

女川町黄金町13番地の2
TEL / FAX 53-3509

<http://blog.goo.ne.jp/hongo-takashi/>
E-mail t.hongo@abeam.ocn.ne.jp

三期目に向けて

……07選挙の総括

本郷 隆

日一日と夏の日差しが強
く感じられる今日この頃、
皆さんのかがお過ごしでし
ようか。

さる4月22日に行われ
た女川町議会議員選挙には、
大変にお世話になりました。
またこうして『ほんご通信』
を皆さんにお届けでき
ますこと、私にとって心か
らの喜びとするところであ
り、あらためて感謝いたし
ます。

さて今回は、この度の選
挙について自分なりの総括
をしたいと思えます。

私自身としては選挙戦を
戦うに際して、特別のチラ

シや名刺を作ったりはせず
に、この4年間の活動をそ
の都度報告してきた『ほん
ご通信』をどのように皆
さんから評価していただ
か、にかけようと考えまし
た。多分に大げさな自己P
Rよりも、普段の議員とし
ての自分を判断して欲しか
ったからです。

ところが現実の選挙はそ
れほど単純なものではなく、
予期せぬ事態がおこったり、
特殊の風が吹いたりします。
今回の選挙戦を通じて、な
ぜだか解りませんが「本郷
は評判がいいぞ!」という
わさが流れました。私自身
はそのような自覚はまった
くなく、選対の熊谷本部長
にいたっても、このような
状態はきわめて好ましくな
い、と気を引き締めるよう

号令をかけてくれたもので
した。

けれども終わってみれば、
皆さんご承知のように、と
ても厳しい結果となりました。
た。いわゆる選挙通を自称
する先達が「そのような風
評の流れから、選挙期間中
に『本郷は大丈夫だから、
うちの方にひとつ譲ってく
れないか』と、少しずつ引
き剥がされ、最終的にこの
ような結果になってしまっ
たのだ」と、分析してくれ
ましたが、実のところは定
かではありません。

私たち選挙対策本部とし
ては現実を素直に受け入れ
るのみです。後日行った反
省会の場で、スタッフの皆
さんに、私は次のように話
しました。

「開票日には最後の最後まで

でご心配をかけてしまった
こと、心から申し訳なく思
います。私としてはこの4
年間、他議員に比して日常
の活動が劣っていたとは思
いません。ただ現実として、
有権者の皆さんからは、
344票・17人中15番目と
いう厳しい評価をいただき
ました。固定票のきわめて
少ない私にとって、改めて
選挙というものの、特に女
川の選挙というものの怖さ
を知らされました。と同時
に、大変よい勉強になりました。
結果として、『この先
4年間、住民と町のために
活動してよろしい!』との
許可をいただけましたので、
この評価を真摯に受け止め、
今後の活動に生かしていき
たいと思います。

とはいっても、今まで同
様に、『言うべきことを言
い、やるべきことをやり、
それを皆さんに報告して、
採点してもらう』といった
根本の方針に変わりはありません。
私にはそうするしか
ありませんから……。

今回頂戴しました344
票を、心底から応援してい
ただいた皆さんの『ガンバ
レ!』と信じて、その気持
ちに答えるようこれからの
4年間を一生懸命務めてい
く覚悟です。今まで支えて
いただきまして本当にあり
がとうございました。」

* *

三期目、50歳代突入の議
員活動を始めるに当たって、
今まで同様の責任ある言動
はもちろんです。今後は
より以上に形の見える結果
を出していかなければなら
ないと心しております。

そこでしつこく皆さんに
お願いするのですが、生活
する上であるいは行政に対
して、少しでも気づいたこ
とがあれば、ぜひ聞かせて
ください。皆さんの声が私
自身の活動の源(みなもと)
であり、皆さんの声を町行
政に届けるのが私の最大の
役目なのですから。

あらためまして、これか
らの4年間よろしく願
います。